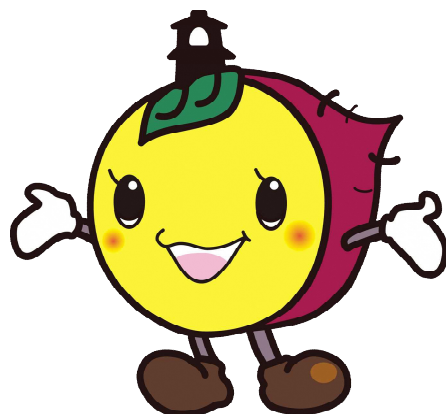


男女共同参画に関する

データブック

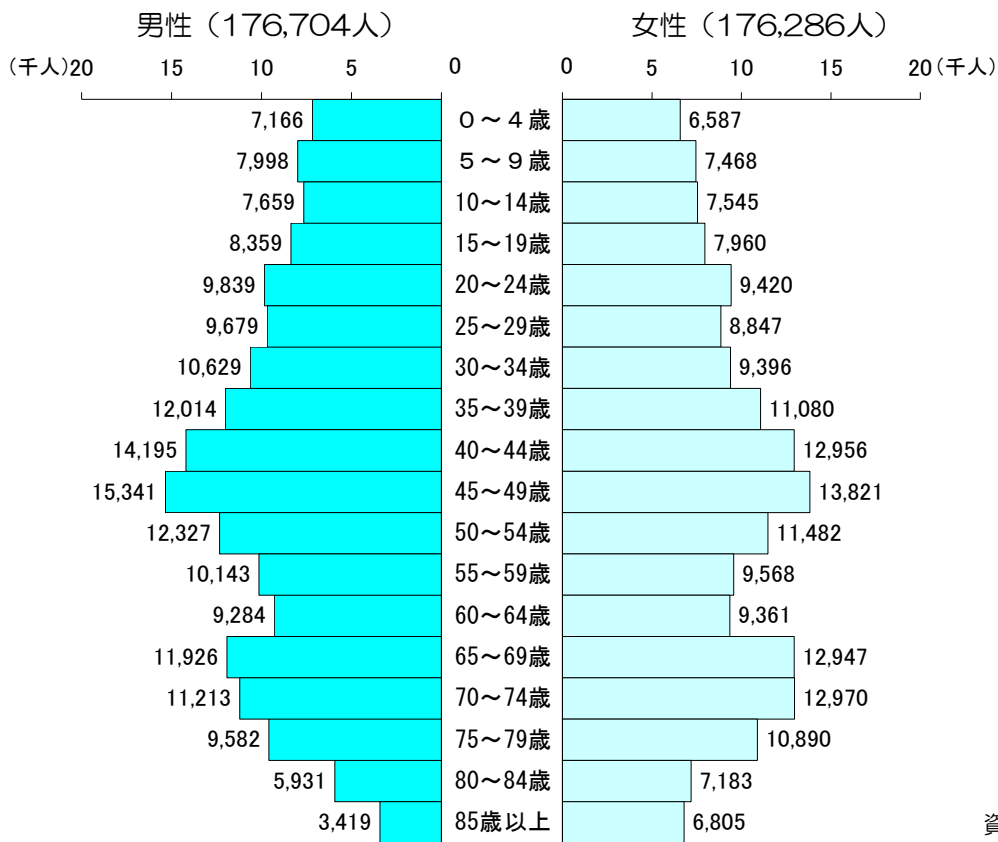
平成31年1月

川越市



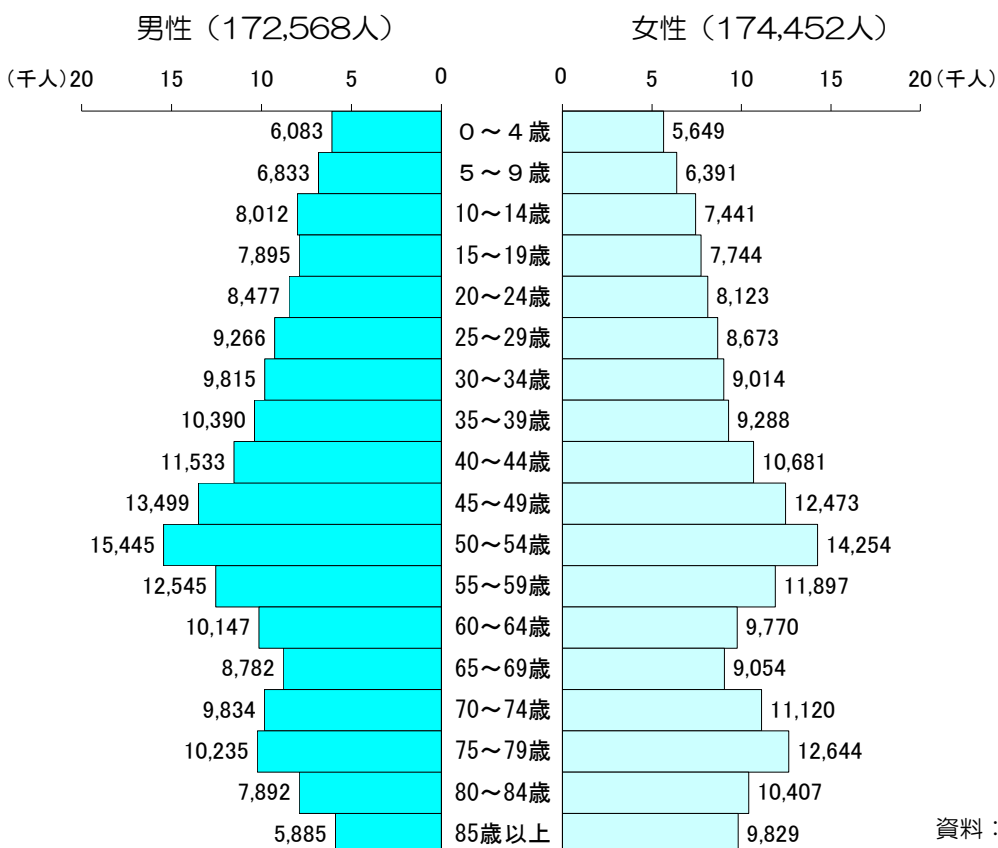
基礎

1 川越市の人口（平成30年（2018年）10月1日現在）



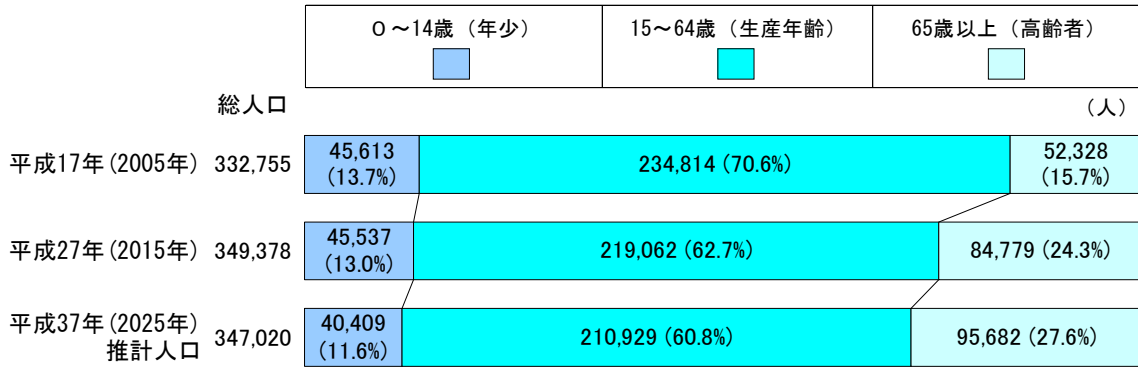
資料：川越市市民課

2 川越市の将来推計人口（平成37年（2025年））



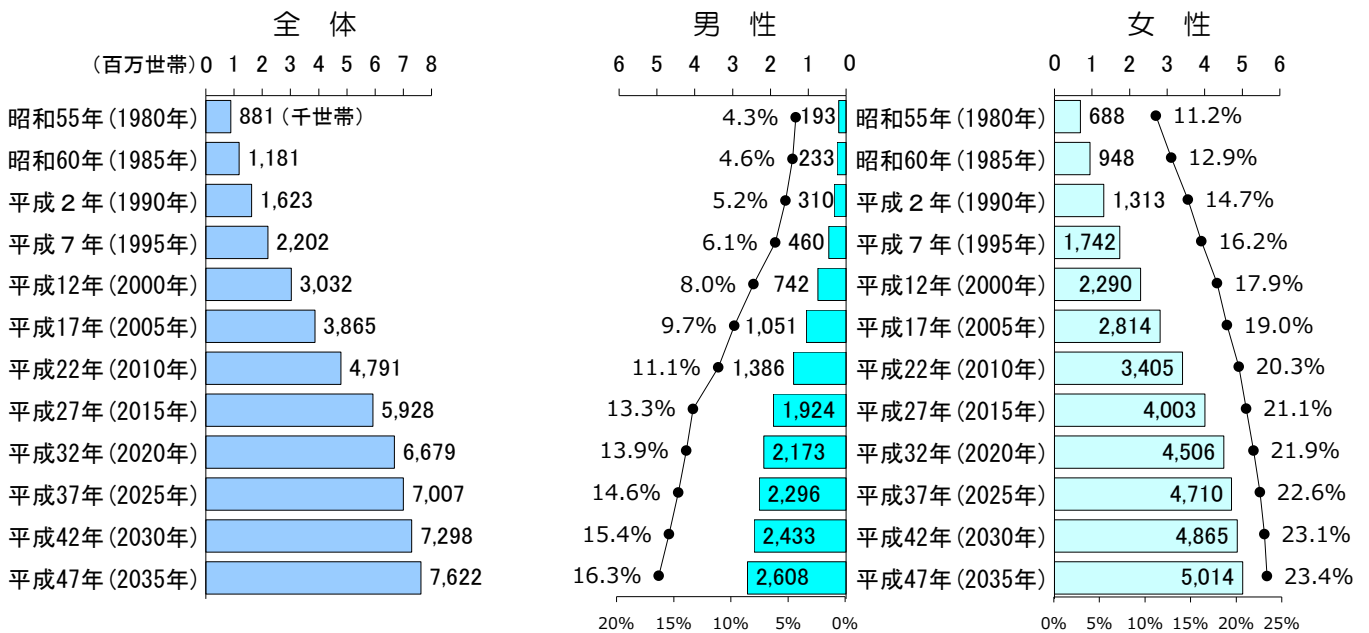
資料：川越市政策企画課

3 川越市の年齢3区分別人口割合の推移



資料：平成17年・平成27年国勢調査（総務省）、川越市政策企画課

4 全国の65才以上高齢者の単独世帯数の推移



資料：平成27年以前は国勢調査（総務省）、

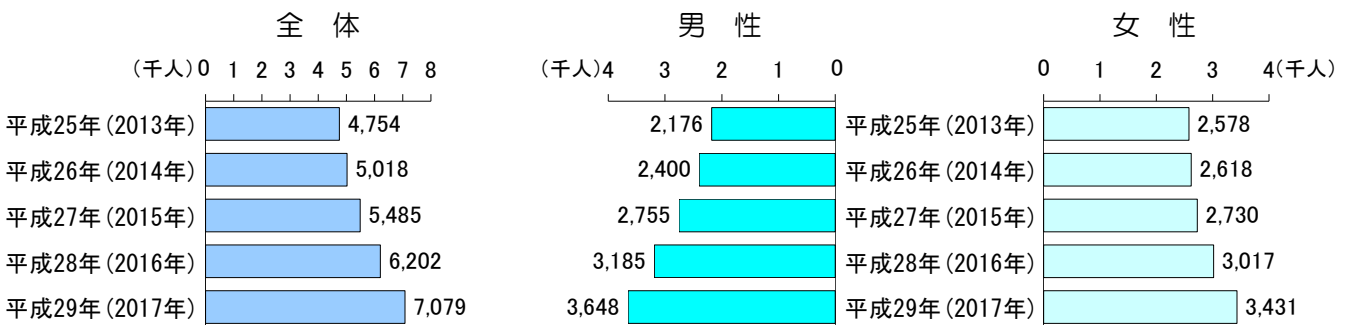
平成32年以降は「日本の世帯数の将来推計2013」、「日本の将来推計人口」（ともに国立社会保障・人口問題研究所）

（注1）棒グラフの数値の単位は「千世帯」。折線グラフの数値の単位は「%」。

（注2）折線グラフは、各年の65歳以上の高齢者人口に占める、65歳以上の単独世帯の人口の割合（%）。

（注3）千世帯以下を四捨五入しているため、男性と女性の世帯数の合計は、全体の世帯数と必ずしも一致しない。

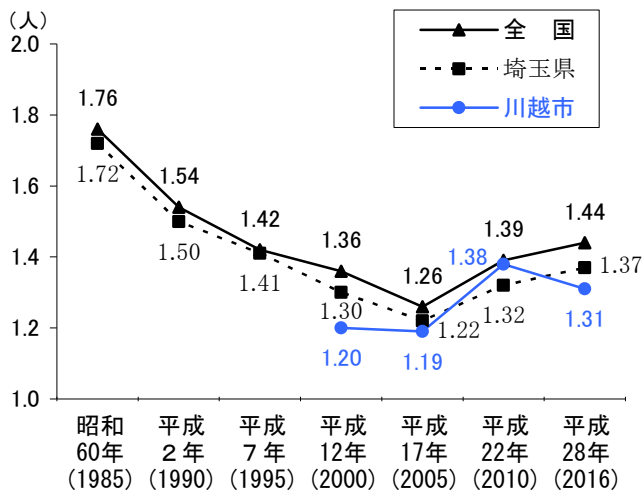
5 川越市内在住外国人の推移（外国人登録法に基づく登録人口）



資料：川越市市民課

6 合計特殊出生率(※)の推移

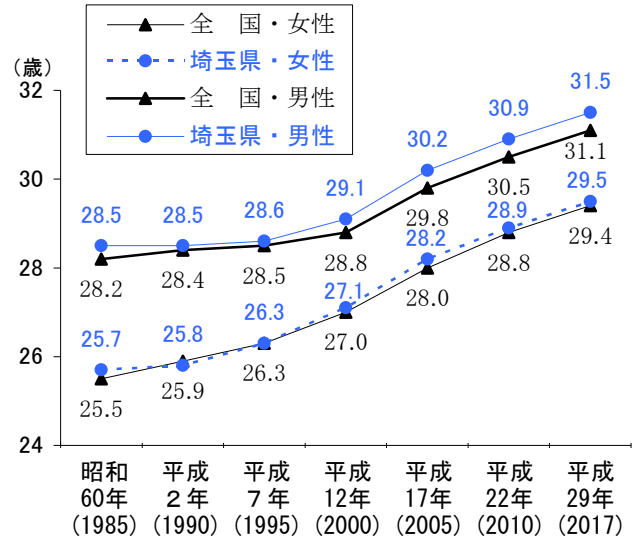
川越市の女性が生涯に生む子どもの数は1.31人



(※) ある年の年齢別出生率が変わらないという仮定のもとで、1人の女性が生涯で平均何人の子供を生むか推計した値。
資料：人口動態統計(厚生労働省)

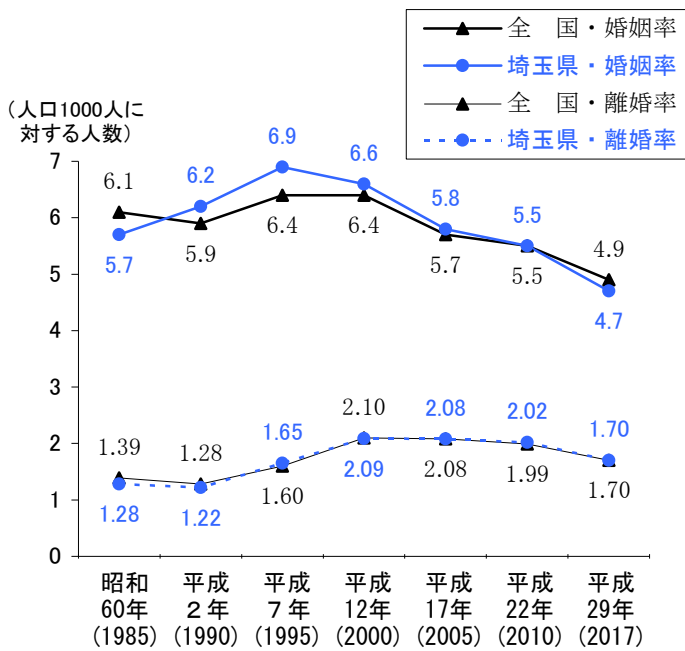
7 平均初婚年齢の推移

男女ともに初婚年齢は上昇



資料：人口動態統計(厚生労働省)

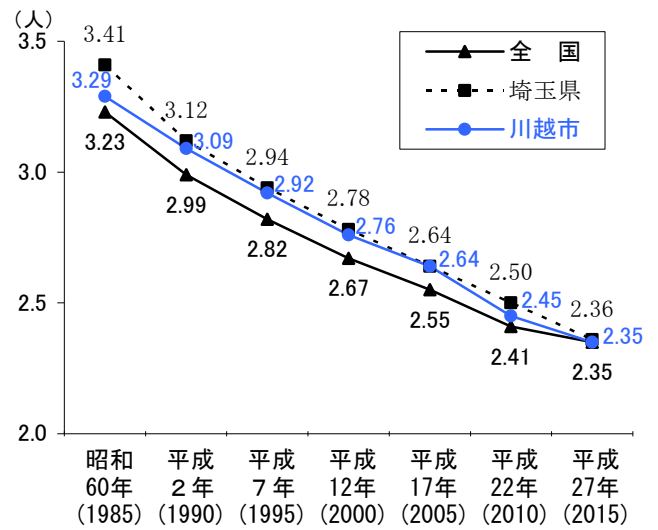
8 婚姻率・離婚率の推移



資料：人口動態統計(厚生労働省)

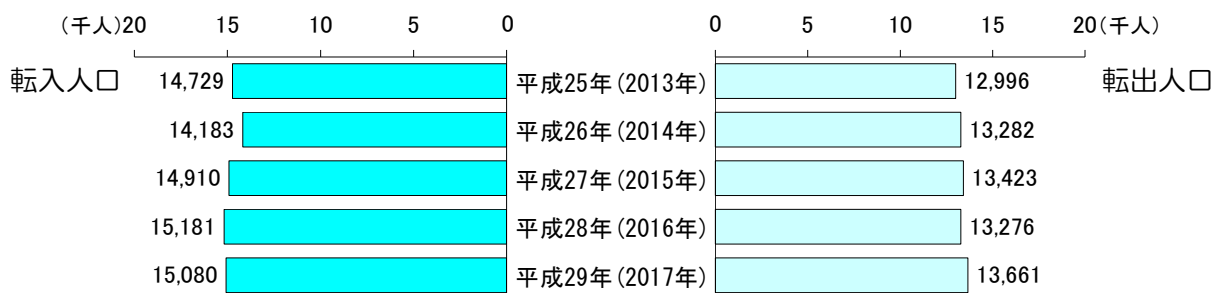
9 1世帯あたりの人員の推移

1世帯あたりの人員は川越市2.35人



資料：国勢調査(総務省)

10 川越市の転入・転出状況の推移

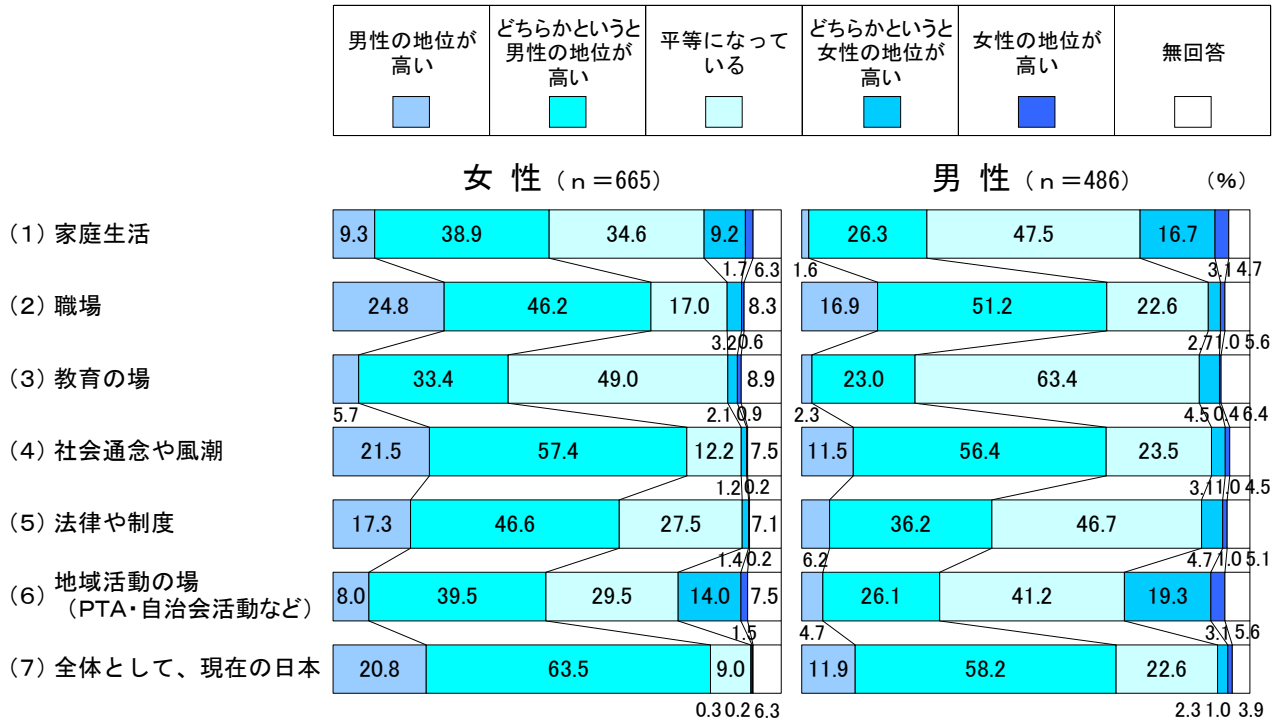


資料：川越市市民課

I 男女平等に関する意識

1 分野別男女平等意識

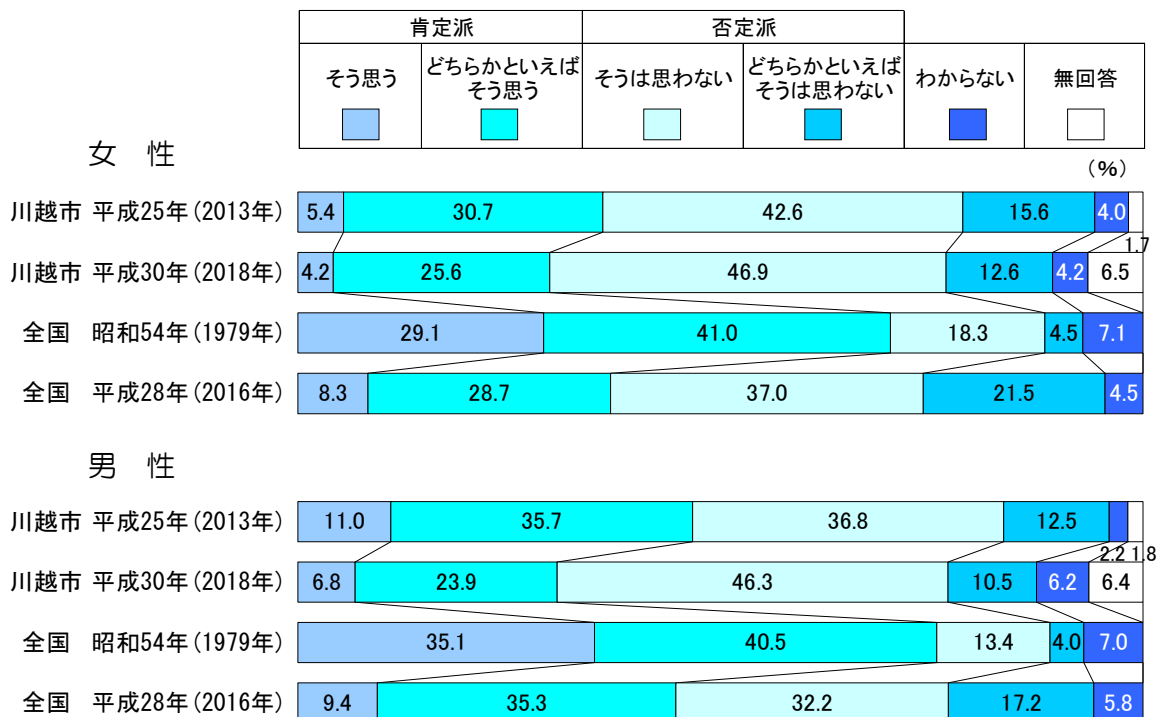
「(3) 教育の場」では「平等になっている」が5割を超えているが、「(7) 全体として、現在の日本」では「男性の地位が高い」と「どちらかというとなりの地位が高い」の合計が8割近い。



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

2 「男は仕事、女は家庭」のように、性別で役割を固定することについての意識

「肯定派」は少なくなっている。



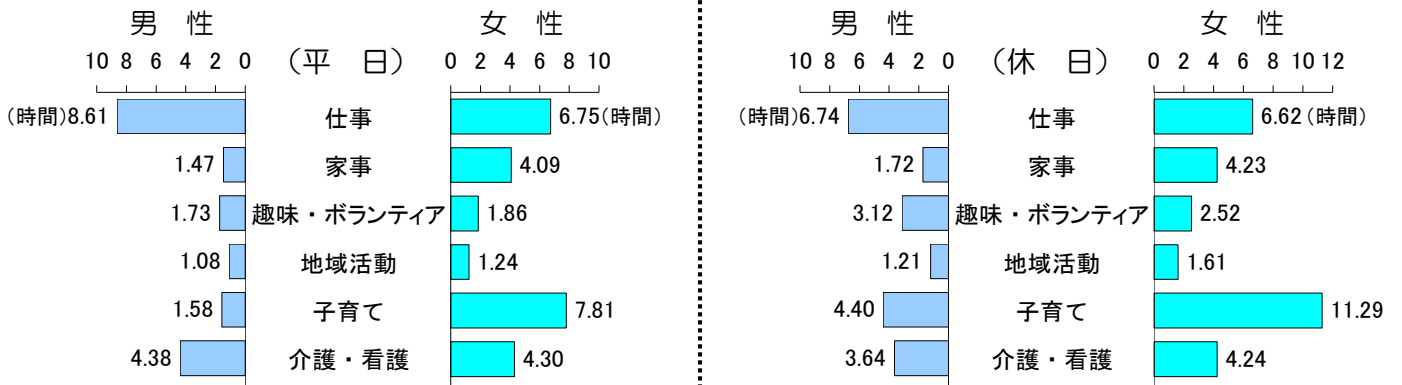
(注) 全国調査においては、「無回答」はいずれも皆無である。

資料：男女共同参画に関する世論調査（内閣府）、男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

II 家庭生活（家事・子育て）について

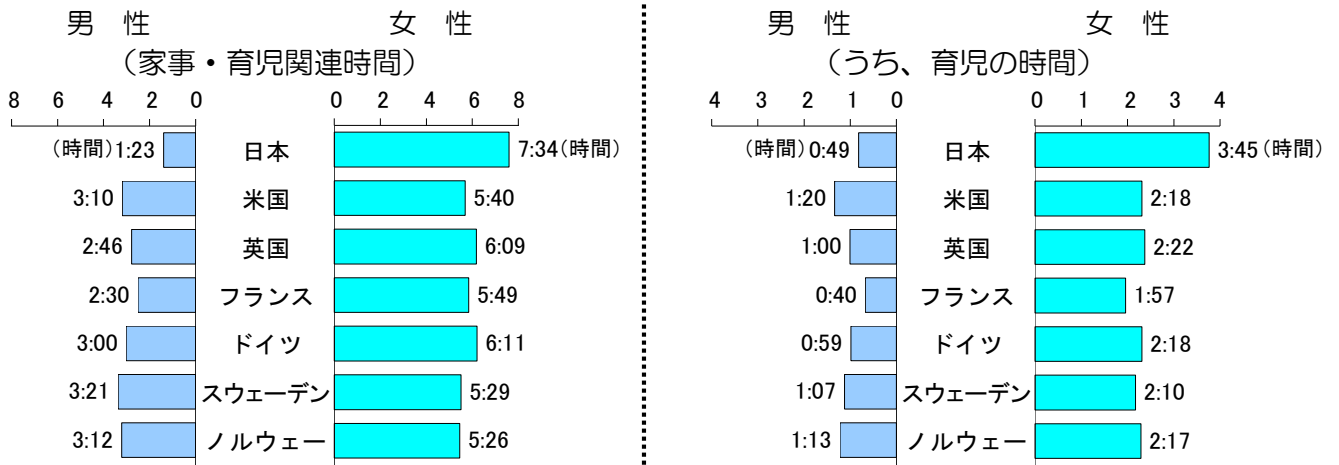
1 生活時間の割合

(注)「1分以上」行っていると回答した人の平均時間



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

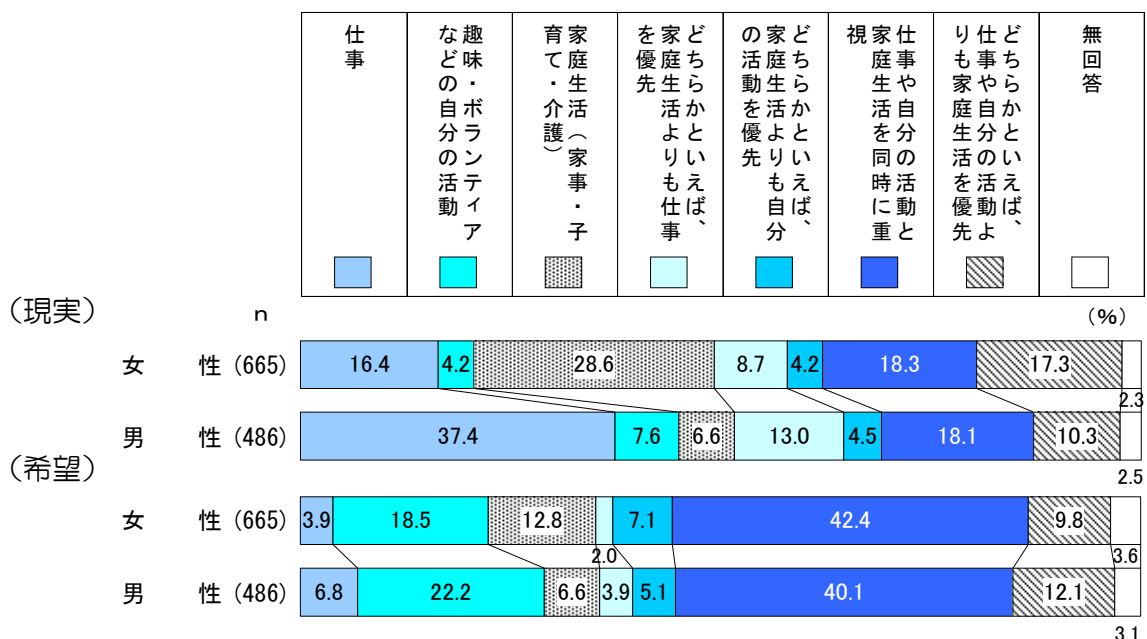
2 6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事・育児関連時間の国際比較



資料：男女共同参画白書（総務省）

3 家庭生活の優先度

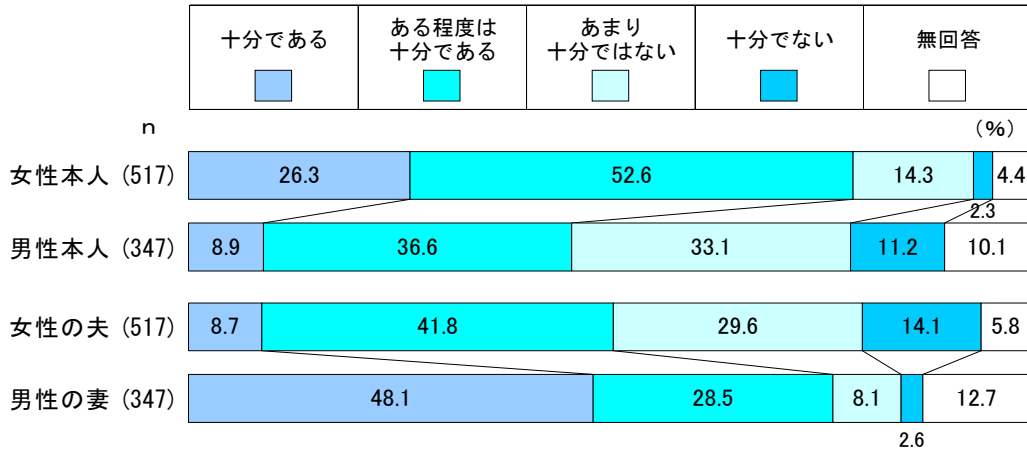
(現実) では男性「仕事」、女性「家庭生活」。(希望) では「仕事や自分の活動と家庭生活を同時に重視」。



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

4 子育てへのかかわり

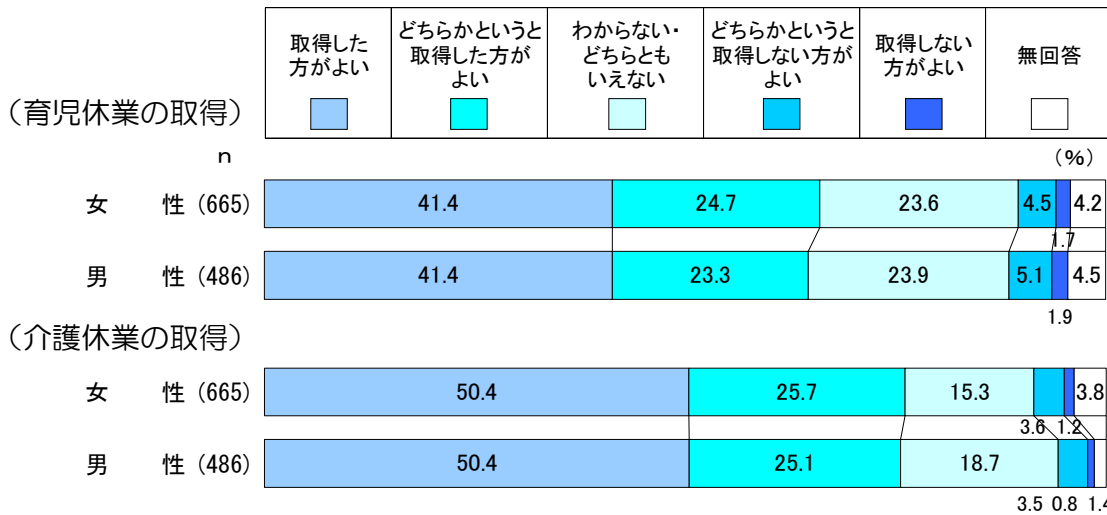
「十分である」と「ある程度は十分である」の合計が5割を超える（男性本人は45.5%）。



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

5 男性の育児休業・介護休業の取得についての是非

「取得した方がよい」と「どちらかという取得した方がよい」の合計が6割を超える。



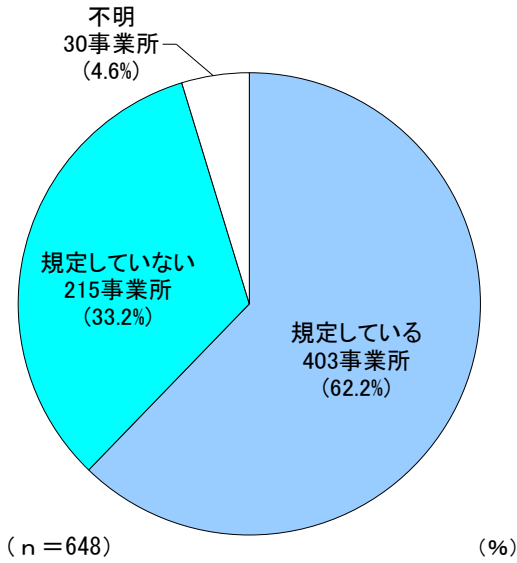
資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

6 川越市職員の育児休業の取得状況の推移

| | 川越市職員の育児休業の取得人数 | | |
|--------------|-----------------|-------|-------|
| | | うち、女性 | うち、男性 |
| 平成25年(2013年) | 43人 | 43人 | 0人 |
| 平成26年(2014年) | 40人 | 36人 | 4人 |
| 平成27年(2015年) | 44人 | 40人 | 4人 |
| 平成28年(2016年) | 28人 | 24人 | 4人 |
| 平成29年(2017年) | 39人 | 35人 | 4人 |

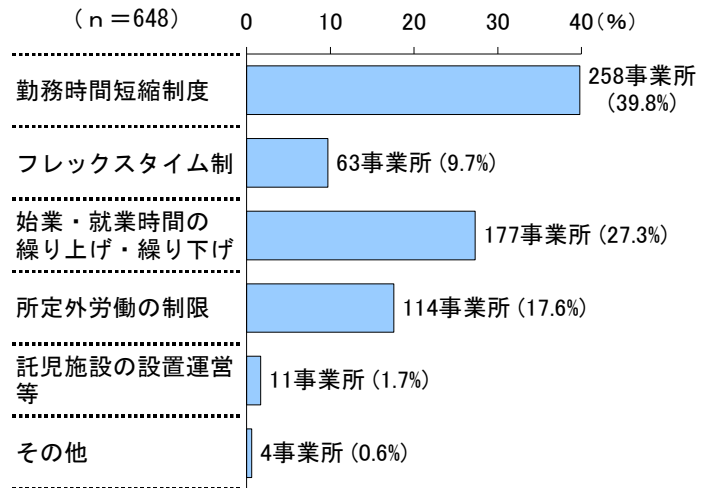
資料：川越市職員課

7 川越市内の事業所の育児休業制度の規定状況（平成28年（2016年））



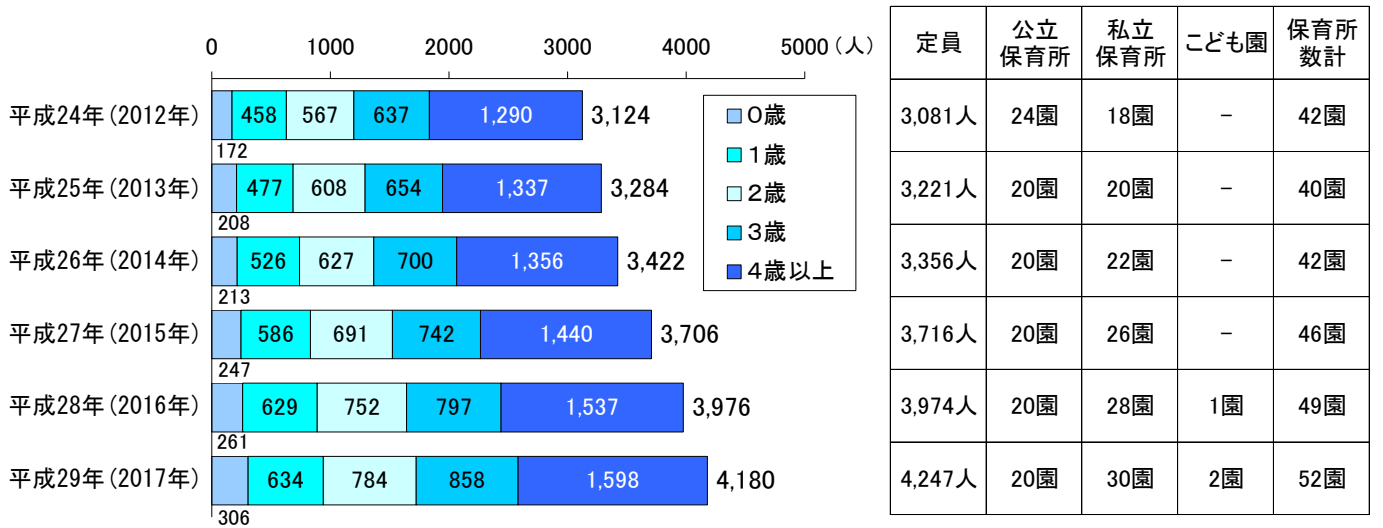
資料：川越市労働基本調査（川越市雇用支援課）

8 川越市内の事業所の育児への支援のための制度・措置の状況（平成28年（2016年））



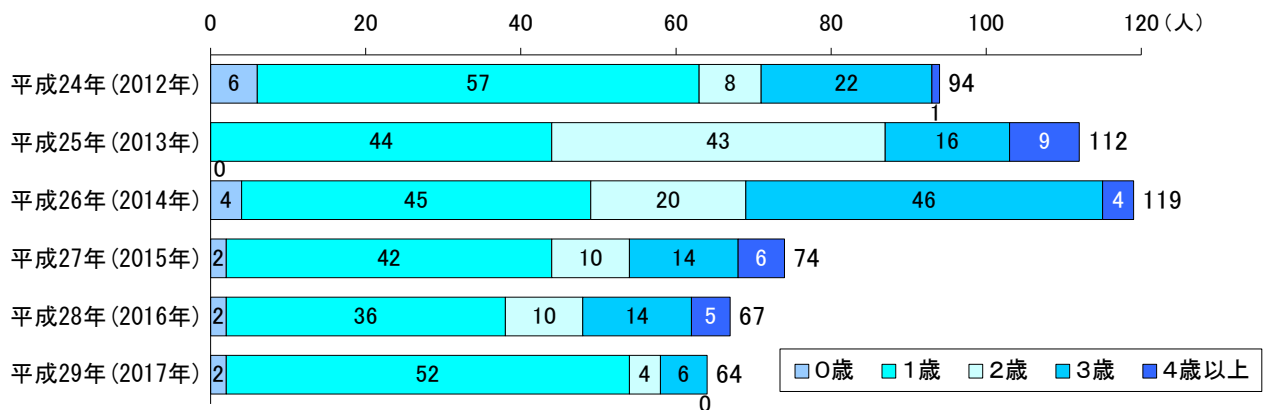
資料：川越市労働基本調査（川越市雇用支援課）

9 川越市の保育所数と入所児童数の推移



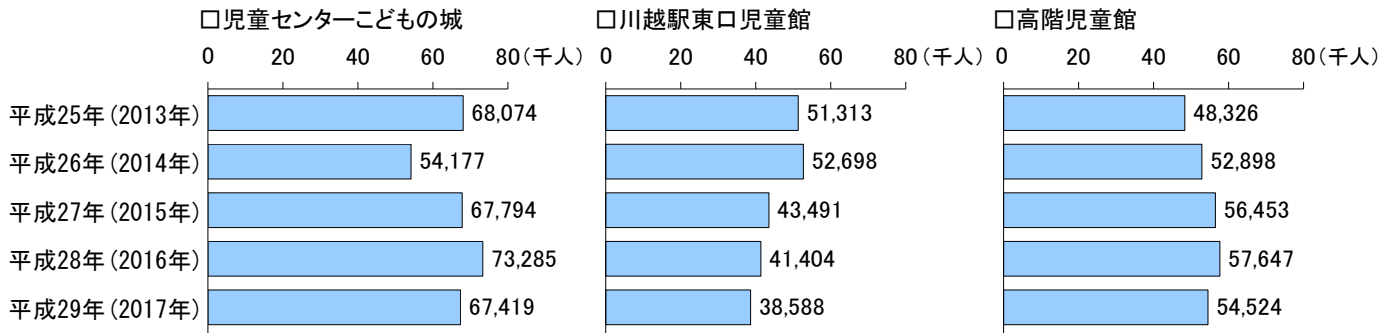
資料：川越市保育課

10 川越市の保育所待機児童数の推移



資料：川越市保育課

11 川越市の児童館の利用状況の推移（延べ利用者数）



資料：川越市子ども家庭課

12 川越市の学童保育室の利用状況の推移

学童保育室は市内32か所のすべての小学校内に設置している。保護者が就労等により常時留守になっている家庭の児童が入所対象で、平成24年から平成29年までの期間の待機児童は0人である。

このほか、民設民営の学童保育室を市内1か所に設置し、平成28年度から事業開始。

| | 小学校児童数 | 学童保育室の入所児童数 (小学校児童数に対する割合) | 民設民営の学童保育室の 入所児童数 |
|--------------|---------|-------------------------------|----------------------|
| 平成24年(2012年) | 17,638人 | 1,892人(10.7%) | |
| 平成25年(2013年) | 17,847人 | 1,979人(11.1%) | |
| 平成26年(2014年) | 17,833人 | 2,029人(11.4%) | |
| 平成27年(2015年) | 17,690人 | 2,168人(12.3%) | |
| 平成28年(2016年) | 17,826人 | 2,324人(13.0%) | 36人 |
| 平成29年(2017年) | 17,967人 | 2,588人(14.4%) | 32人 |

資料：川越市教育財務課

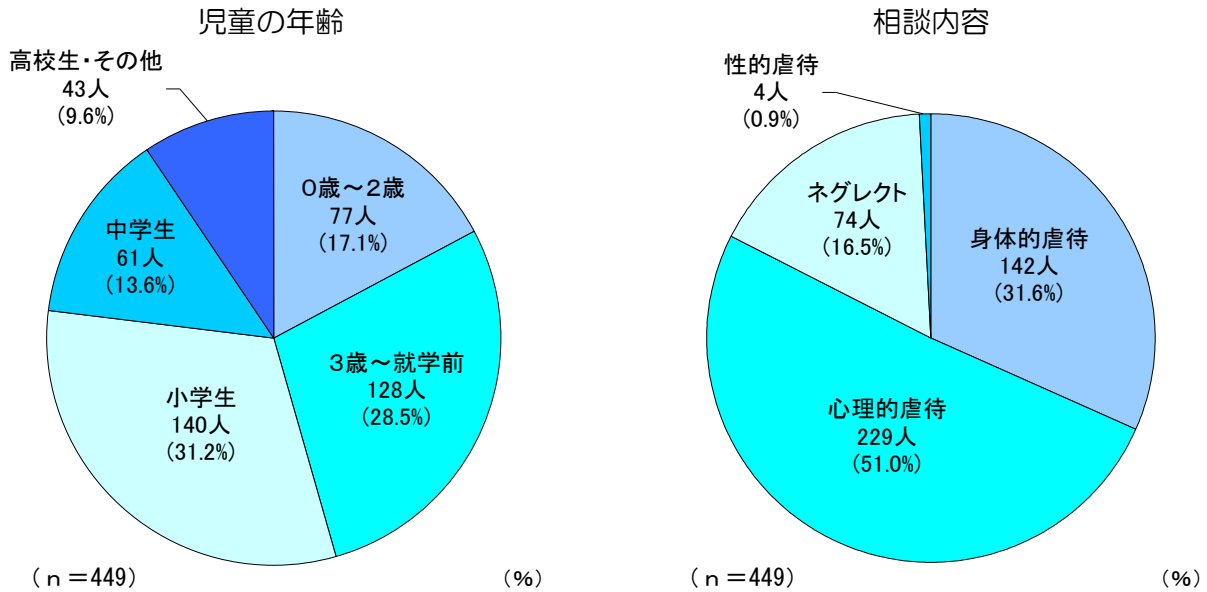
13 川越市のファミリー・サポート・センターの利用状況の推移

ファミリー・サポート・センターは、平成26年度から利用料金（報酬額）を1時間700円に減額し、車による送迎援助を開始。緊急サポートセンター事業は、平成26年度から開始。

| | | 平成25年 (2013年) | 平成26年 (2014年) | 平成27年 (2015年) | 平成28年 (2016年) | 平成29年 (2017年) |
|-----------------|---------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| ファミリー・サポート・センター | 提供会員数 | 566人 | 603人 | 631人 | 532人 | 500人 |
| | 依頼会員数 | 1,467人 | 1,598人 | 1,687人 | 1,488人 | 1,477人 |
| | 両方会員数 | 84人 | 81人 | 85人 | 80人 | 71人 |
| | 援助活動回数 | 6,606回 | 7,442回 | 8,016回 | 8,768回 | 9,167回 |
| 緊急サポートセンター | サポート会員数 | | 47人 | 50人 | 50人 | 51人 |
| | 利用会員数 | | 114人 | 180人 | 256人 | 333人 |
| | 両方会員数 | | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 援助活動回数 | | 207回 | 326回 | 416回 | 166回 |

資料：川越市子ども育成課

14 川越市の児童虐待相談の状況（平成29年（2017年））



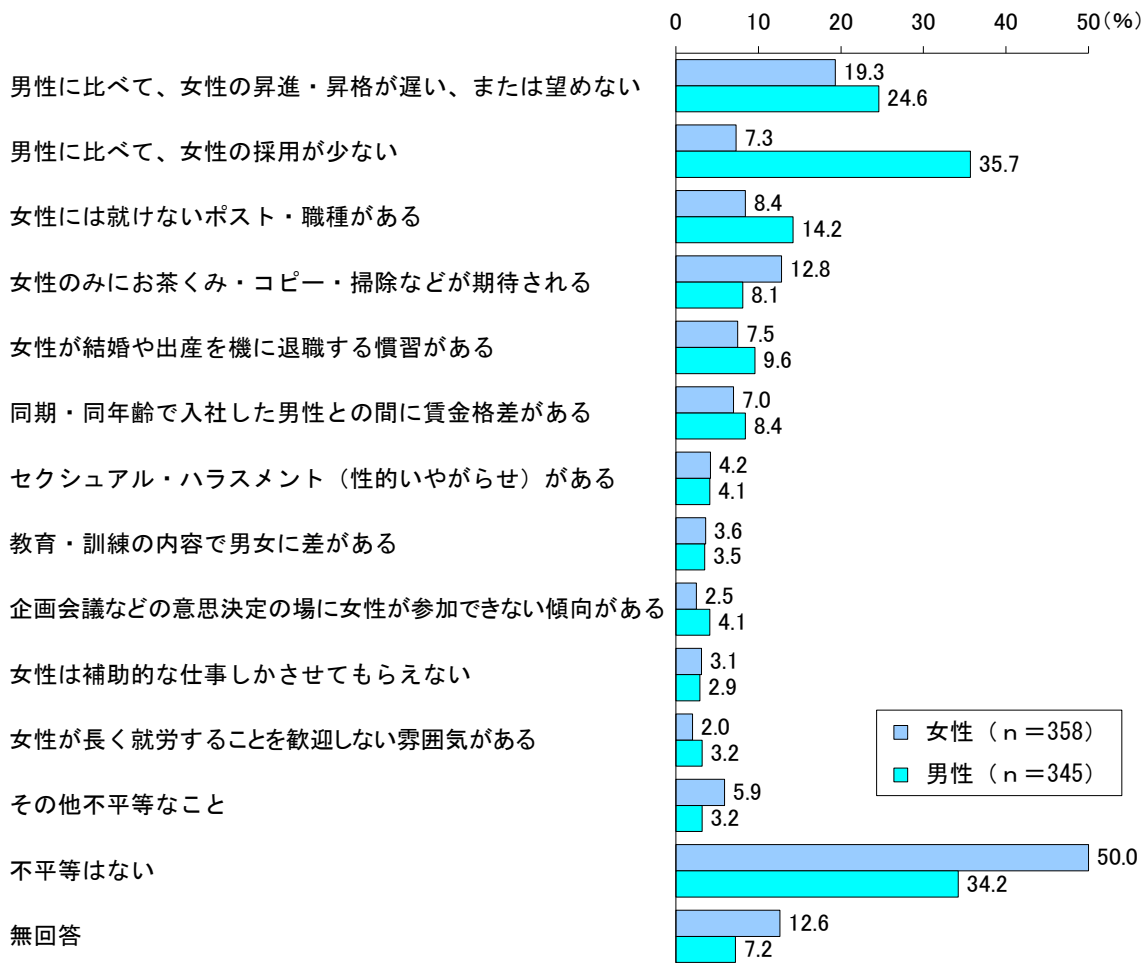
資料：川越市子ども家庭課

Ⅲ 仕事について

1 職場における女性の仕事内容や待遇

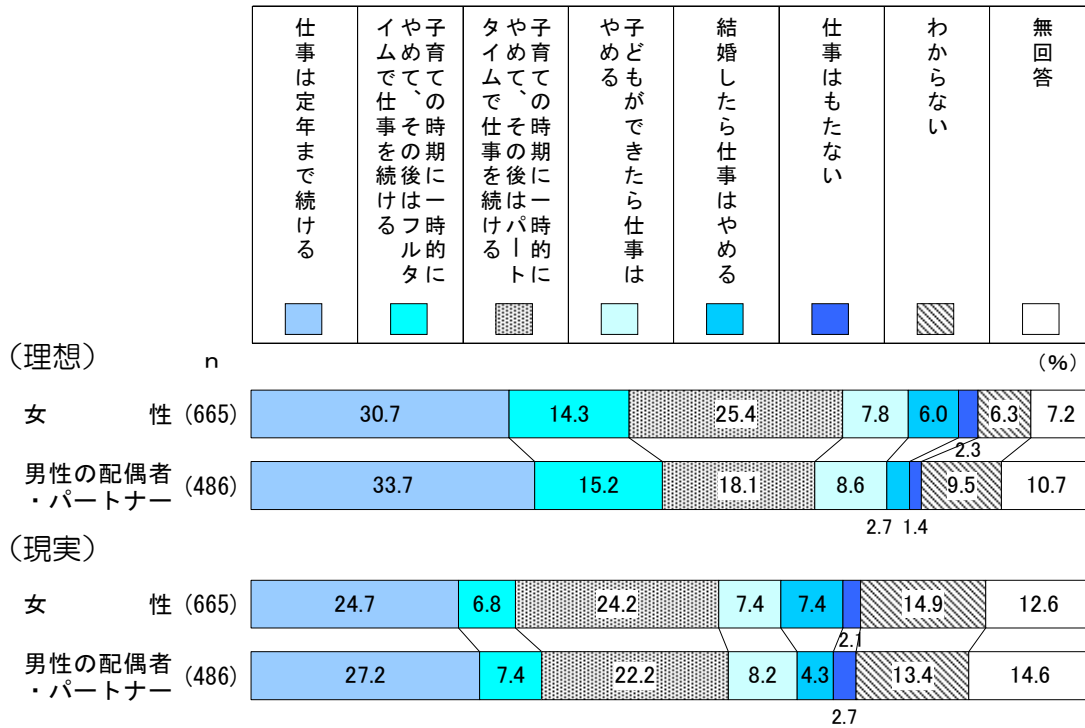
「不平等はない」は女性（50.0%）が男性（34.2%）を15.8ポイント上回っている。

「女性の昇進・昇格」、「女性の採用」、「女性には就けないポスト・職種」は男性が女性を上回っている。



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

2 仕事に関する女性の理想と現実

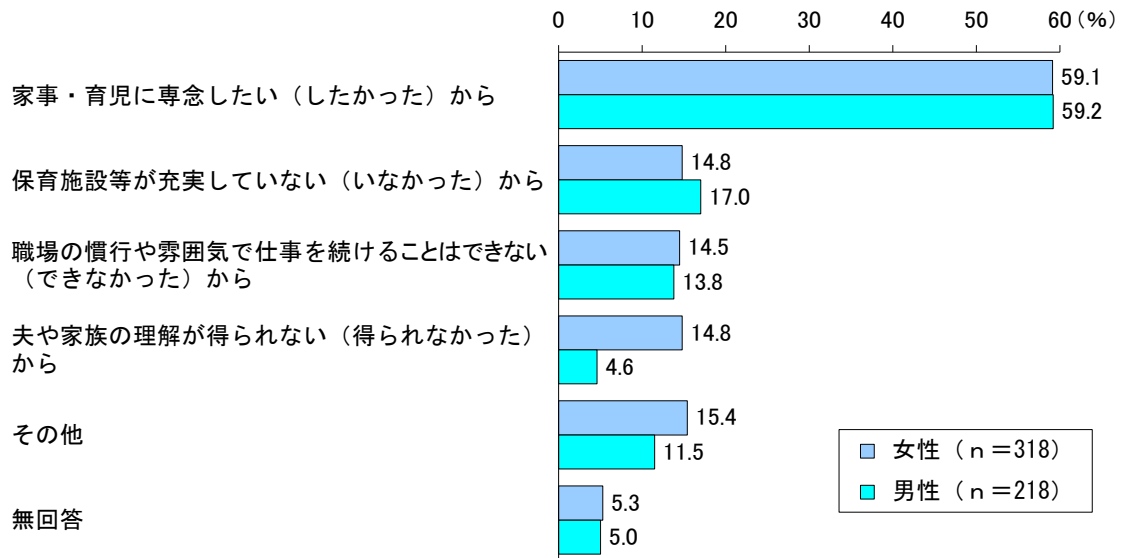


(注) 女性に対しては、自分のことについて質問した。

男性に対しては、自分の配偶者・パートナー（いない男性へは、いと仮定して）のことについて質問した。

資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

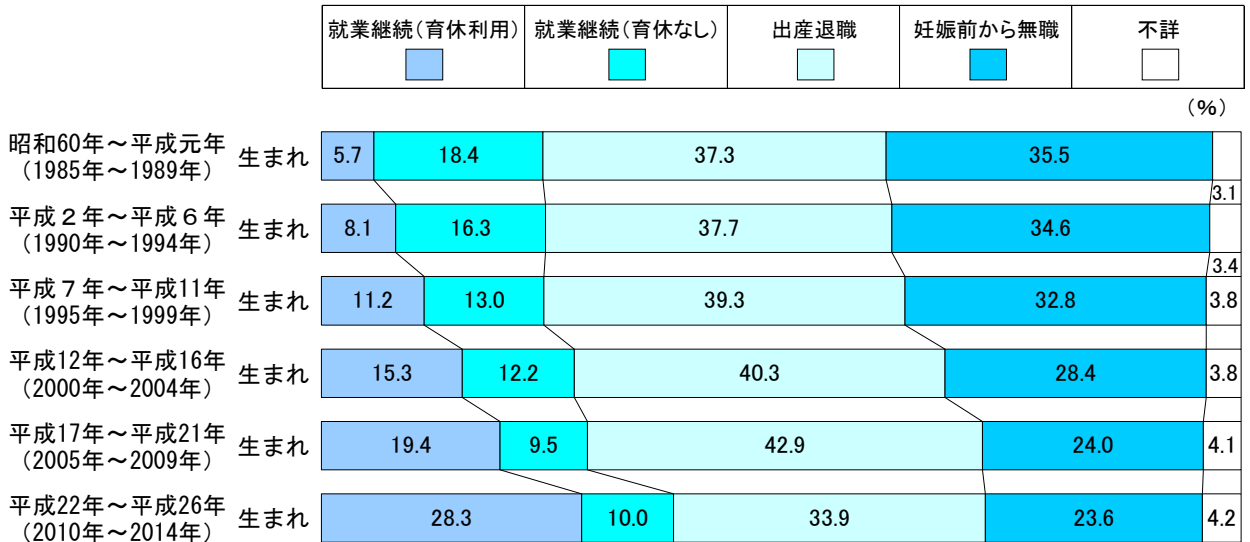
「現実」を選んだ理由



(注) 〔2 仕事に関する女性の「現実」〕で「仕事は定年まで続ける」「わからない」以外と回答した方に対する質問。

資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

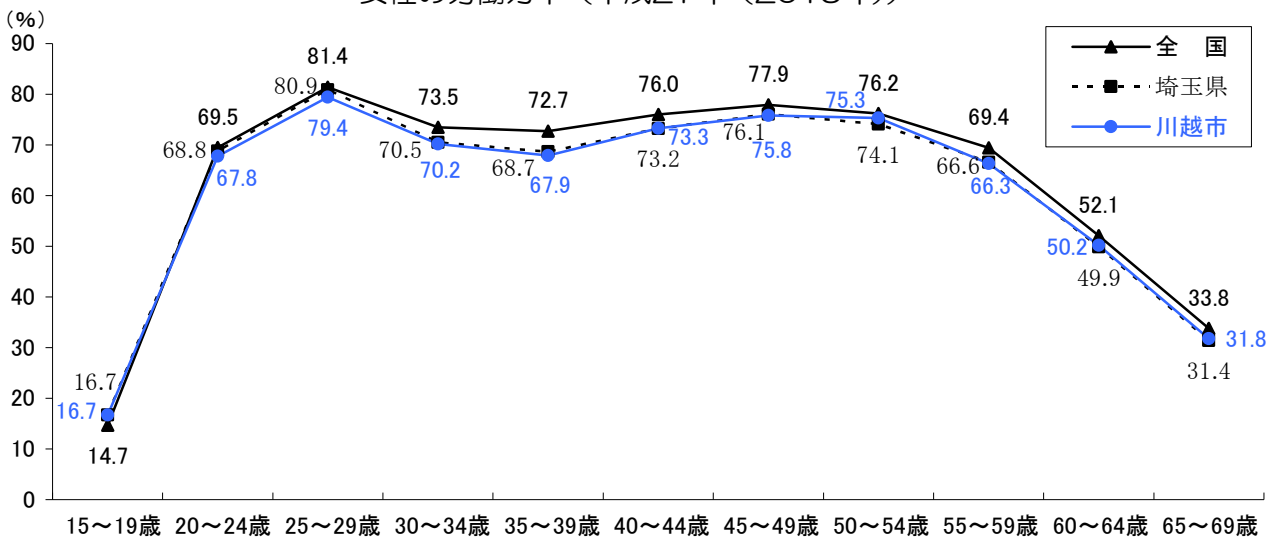
3 第1子出産前後の妻の就業経歴の推移



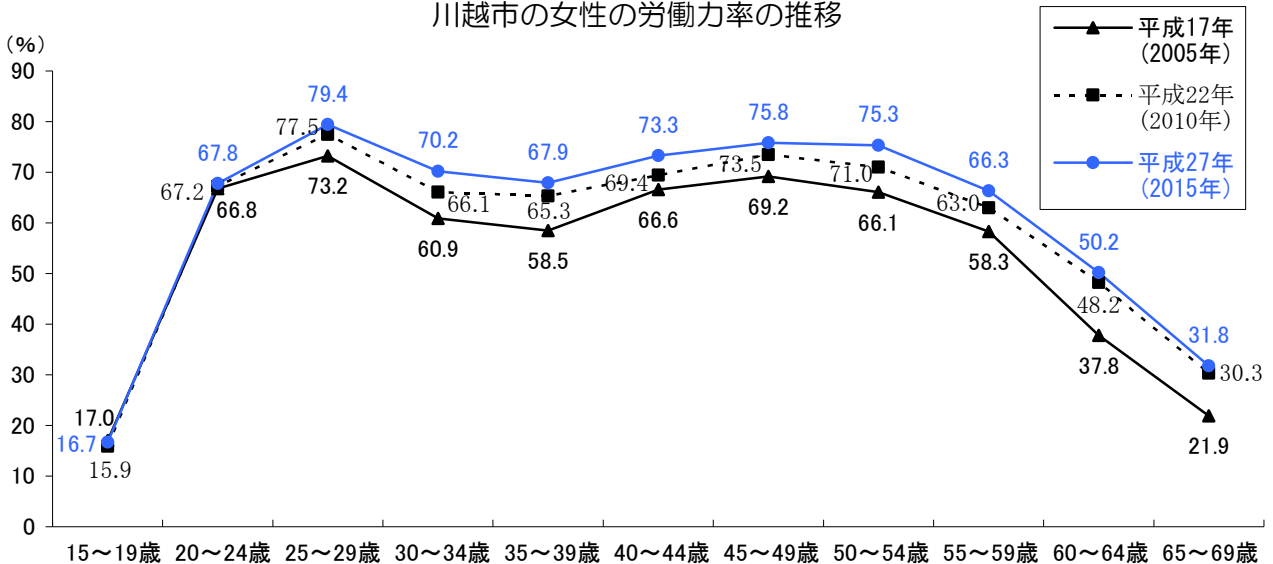
資料：男女共同参画白書（総務省）

4 女性の労働力率（5歳年齢階級別）

女性の労働力率（平成27年（2015年））

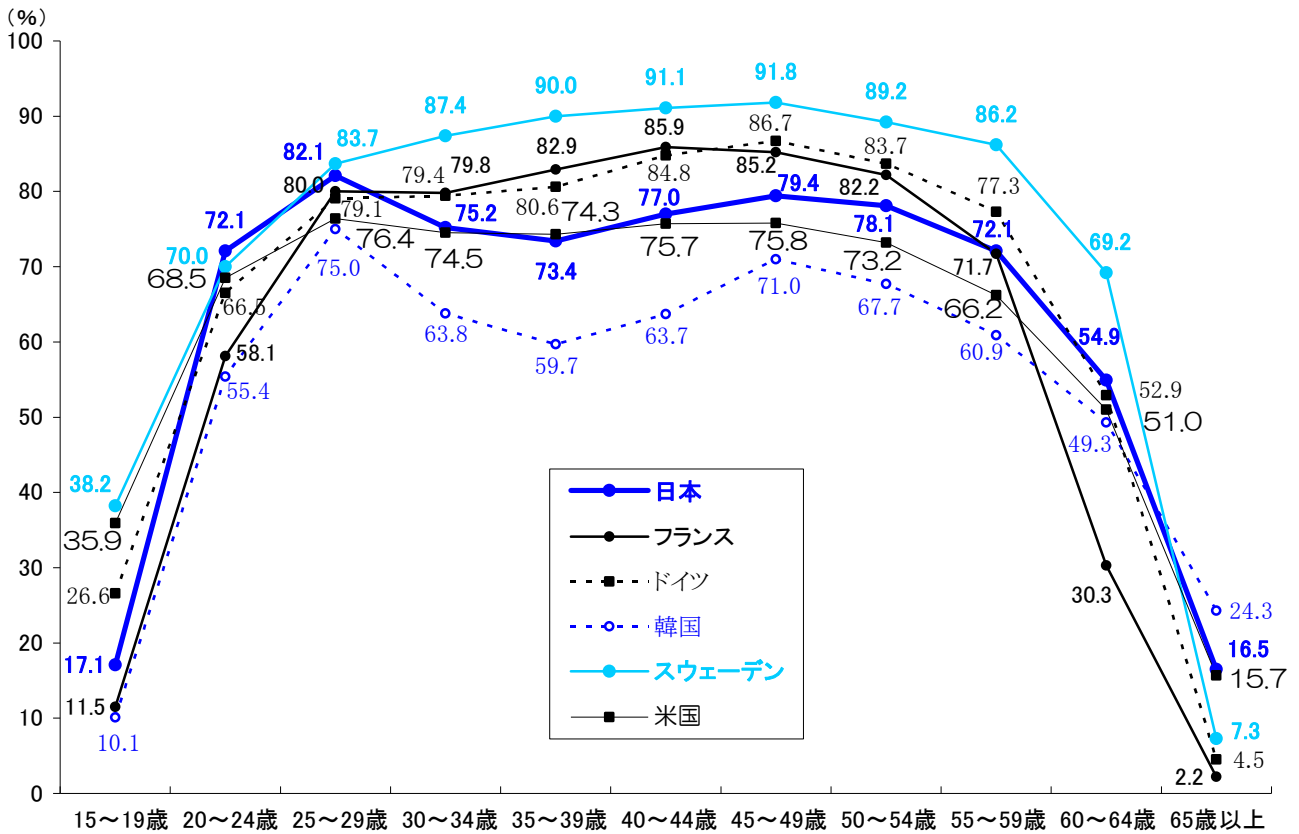


川越市の女性の労働力率の推移



資料：国勢調査（総務省）

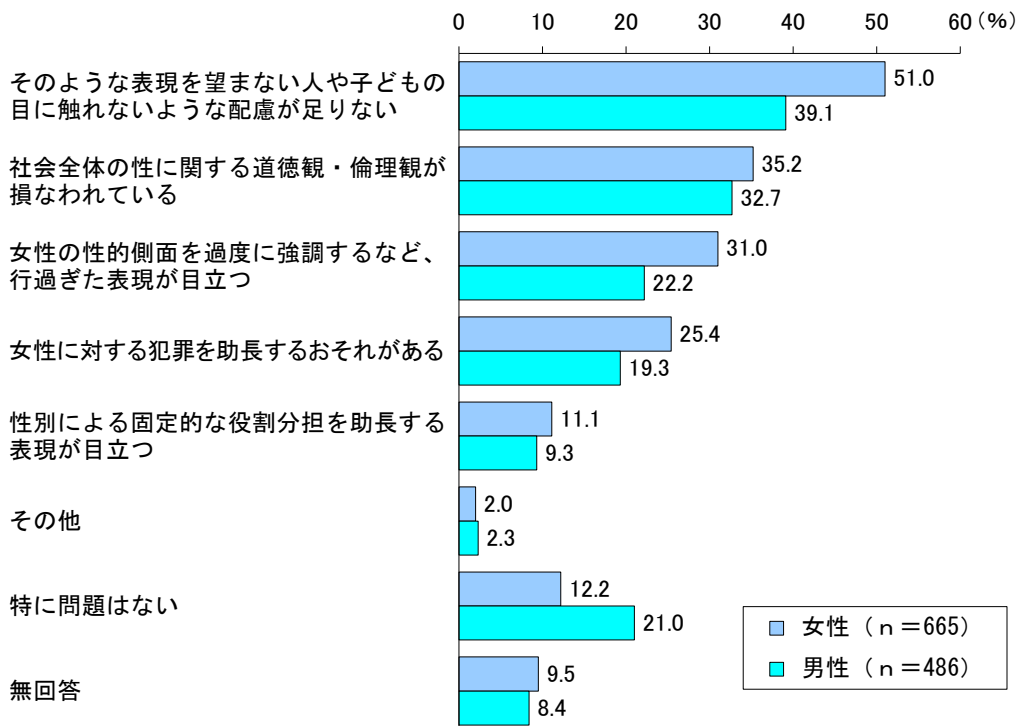
5 女性の労働力率の国際比較（5歳年齢階級別）



資料：男女共同参画白書（内閣府）

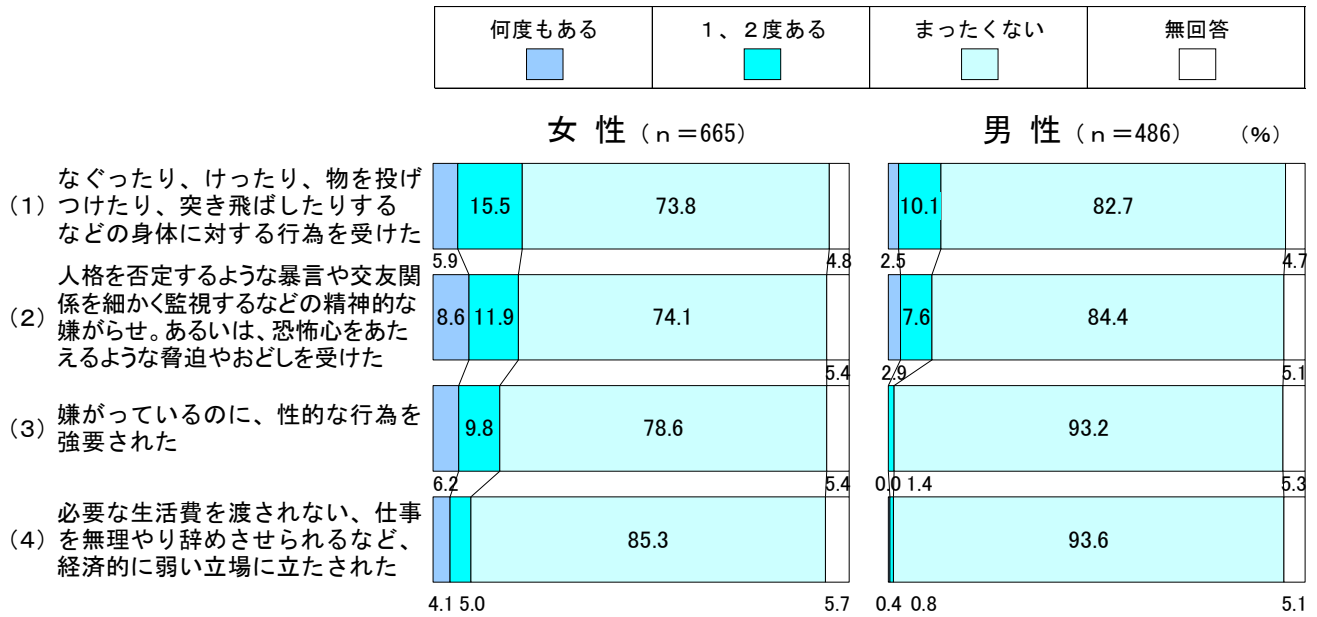
IV 人権・暴力について

1 メディアでの性別による固定的な役割分担の表現、女性に対する暴力、性の表現について



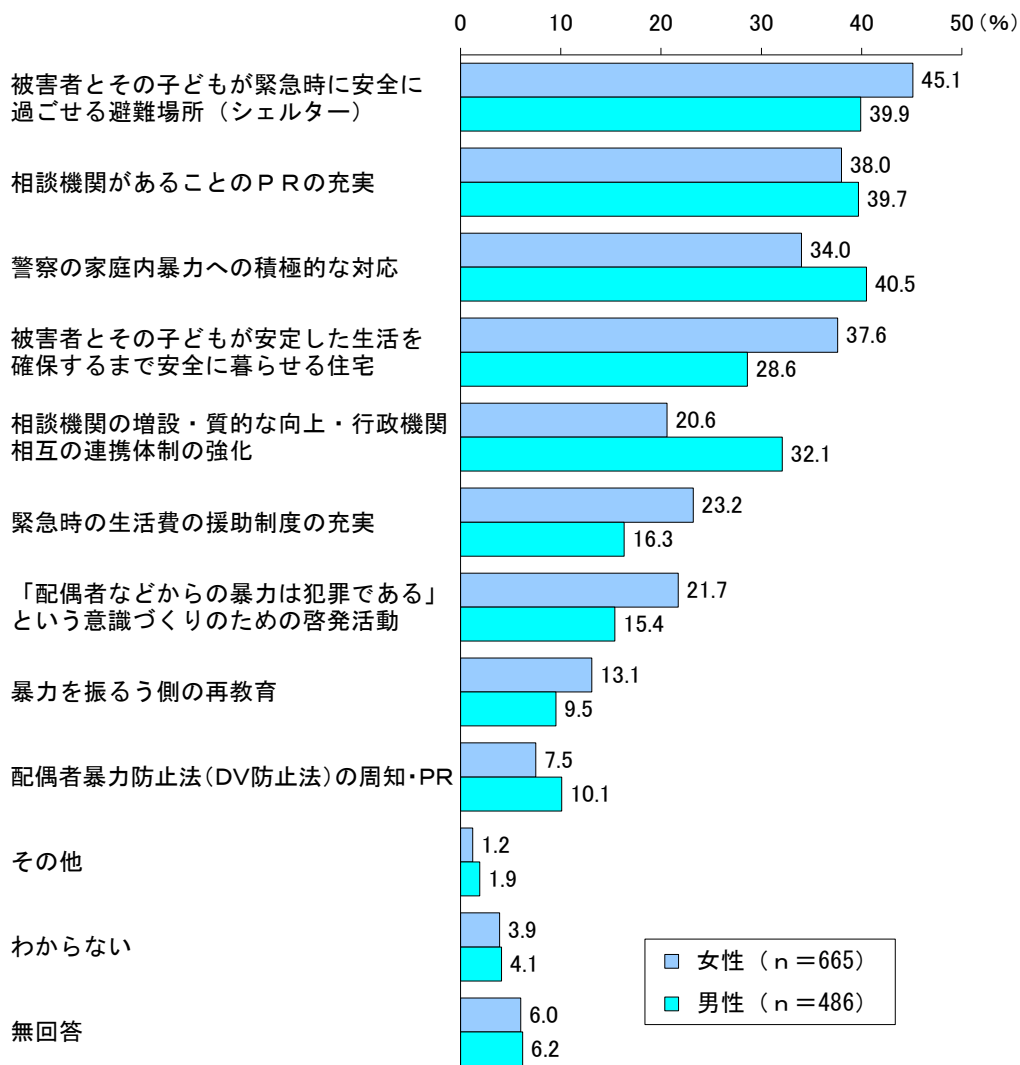
資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

2 配偶者等からの暴力等被害経験の有無



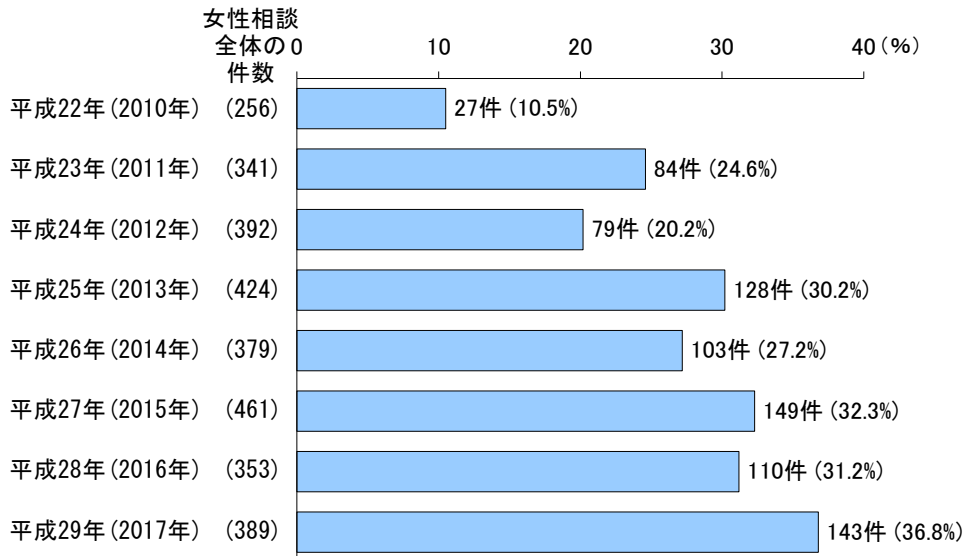
資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

3 配偶者等からの暴力等に対する対策や援助



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

4 女性に対する暴力相談（DV関連）受付件数の推移

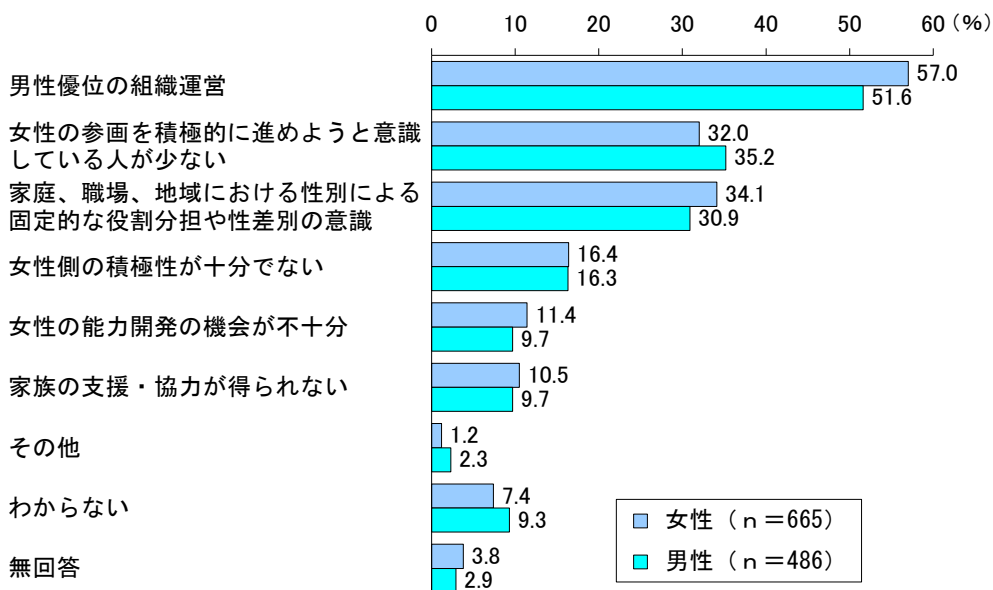


(注) 相談件数は延べ件数。比率は女性相談全体の件数に占めるDV関連相談件数の割合。DV関連相談件数には従訴を含む。

資料：川越市男女共同参画課

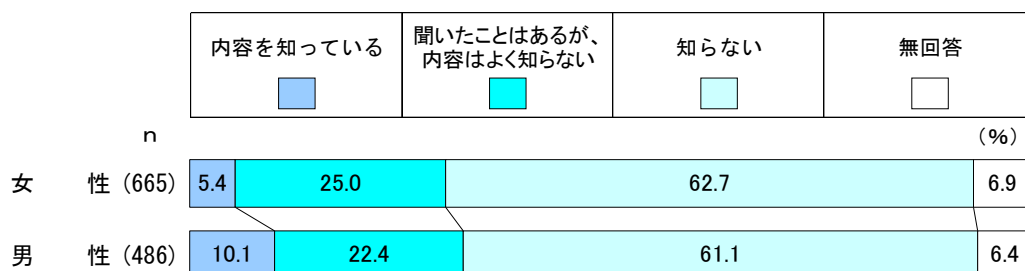
V 男女の社会参画について

1 政治や行政において、女性の参画が少ない理由



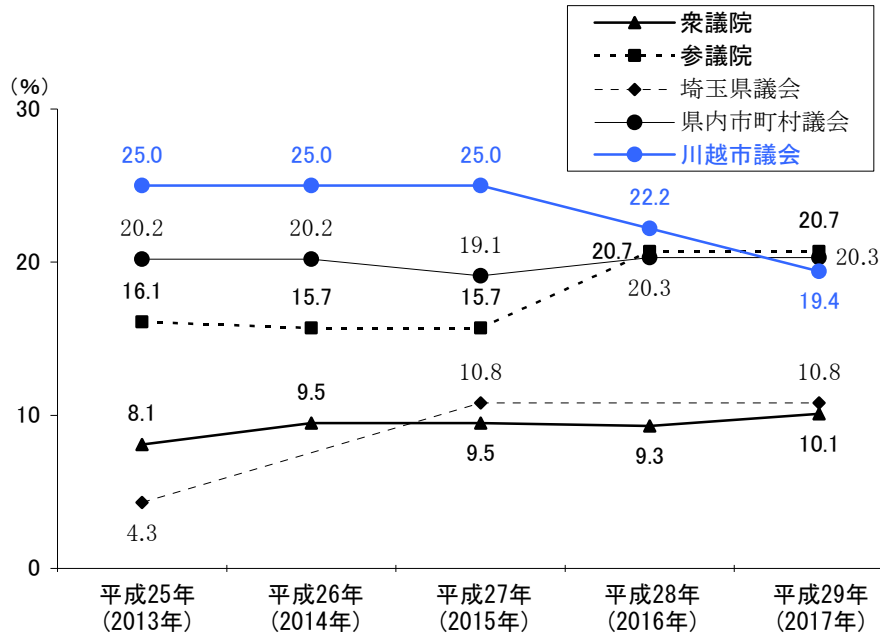
資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

2 ポジティブアクションの認知度



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

3 地方議会における女性議員の割合の推移



資料：男女共同参画年次報告（埼玉県）、市町村における男女共同参画に関する施策の推進状況調査（埼玉県）、衆議院事務局・参議院事務局・川越市議会事務局調べ

4 市内の地域活動リーダーへの女性の参画状況の推移

(1) 老人クラブ

| | 人数 | うち、女性 | |
|-----------|--------|--------|----------|
| | | 人数 | 女性が占める割合 |
| 会員数 | 6,972人 | 3,892人 | 55.8% |
| 単体クラブ会長 | 107人 | 5人 | 4.7% |
| 老人クラブ連合会長 | 1人 | 0人 | 0.0% |

資料：川越市社会福祉協議会

(2) 自治会活動

| | 単一自治会長 | | |
|---------------|--------|-------|----------|
| | 人数 | うち、女性 | 女性が占める割合 |
| 平成25年 (2013年) | 293人 | 8人 | 2.7% |
| 平成26年 (2014年) | 292人 | 14人 | 4.8% |
| 平成27年 (2015年) | 293人 | 18人 | 6.1% |
| 平成28年 (2016年) | 293人 | 18人 | 6.1% |
| 平成29年 (2017年) | 292人 | 10人 | 1.0% |
| 平成30年 (2018年) | 292人 | 21人 | 7.2% |

資料：川越市地域づくり支援課

(3) PTA活動

| | 保育園保護者会長 | | | 小学校PTA会長 | | | 中学校PTA会長 | | |
|---------------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|----------|-------|----------|
| | 人数 | うち、女性 | 女性が占める割合 | 人数 | うち、女性 | 女性が占める割合 | 人数 | うち、女性 | 女性が占める割合 |
| 平成25年 (2013年) | 20人 | 17人 | 85.0% | 32人 | 5人 | 15.6% | 22人 | 4人 | 18.2% |
| 平成26年 (2014年) | 20人 | 19人 | 95.0% | 32人 | 3人 | 9.4% | 22人 | 3人 | 13.6% |
| 平成27年 (2015年) | 20人 | 18人 | 90.0% | 32人 | 4人 | 12.5% | 22人 | 2人 | 9.1% |
| 平成28年 (2016年) | 20人 | 18人 | 90.0% | 32人 | 4人 | 12.5% | 22人 | 2人 | 9.1% |
| 平成29年 (2017年) | 20人 | 19人 | 95.0% | 32人 | 5人 | 15.6% | 22人 | 3人 | 13.6% |

資料：川越市地域教育支援課

5 審議会等への女性の参画状況の推移

| | 国の審議会の委員 | | | 埼玉県の審議会の委員 | | | 川越市の審議会の委員 | | |
|--------------|----------|----------|-------|------------|----------|-------|------------|----------|-------|
| | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | |
| 平成25年(2013年) | 1,785人 | 610人 | 34.2% | 1,500人 | 538人 | 35.9% | 696人 | 218人 | 31.3% |
| 平成26年(2014年) | 1,854人 | 656人 | 35.4% | 1,478人 | 559人 | 37.8% | 679人 | 221人 | 32.5% |
| 平成27年(2015年) | 1,798人 | 659人 | 36.7% | 1,446人 | 552人 | 38.2% | 928人 | 276人 | 29.7% |
| 平成28年(2016年) | 1,808人 | 671人 | 37.1% | 1,476人 | 562人 | 38.1% | 909人 | 269人 | 29.6% |
| 平成29年(2017年) | 1,795人 | 672人 | 37.4% | 1,477人 | 546人 | 37.0% | 897人 | 258人 | 28.8% |

資料：川越市男女共同参画課

6 川越市職員における女性の登用状況の推移

| | 役職者総数（係長級以上） | | | うち、課長級以上 | | | うち、副課長・係長級 | | |
|--------------|--------------|----------|-------|----------|----------|------|------------|----------|-------|
| | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | |
| | | | | | | | | | |
| 平成26年(2014年) | 663人 | 162人 | 24.4% | 151人 | 11人 | 7.3% | 512人 | 151人 | 29.5% |
| 平成27年(2015年) | 645人 | 169人 | 26.2% | 147人 | 13人 | 8.8% | 498人 | 156人 | 31.3% |
| 平成28年(2016年) | 637人 | 163人 | 25.6% | 154人 | 14人 | 9.1% | 483人 | 149人 | 30.8% |
| 平成29年(2017年) | 609人 | 154人 | 25.3% | 151人 | 14人 | 9.3% | 458人 | 140人 | 30.6% |
| 平成30年(2018年) | 615人 | 162人 | 26.3% | 146人 | 14人 | 9.6% | 469人 | 148人 | 31.6% |

資料：川越市職員課

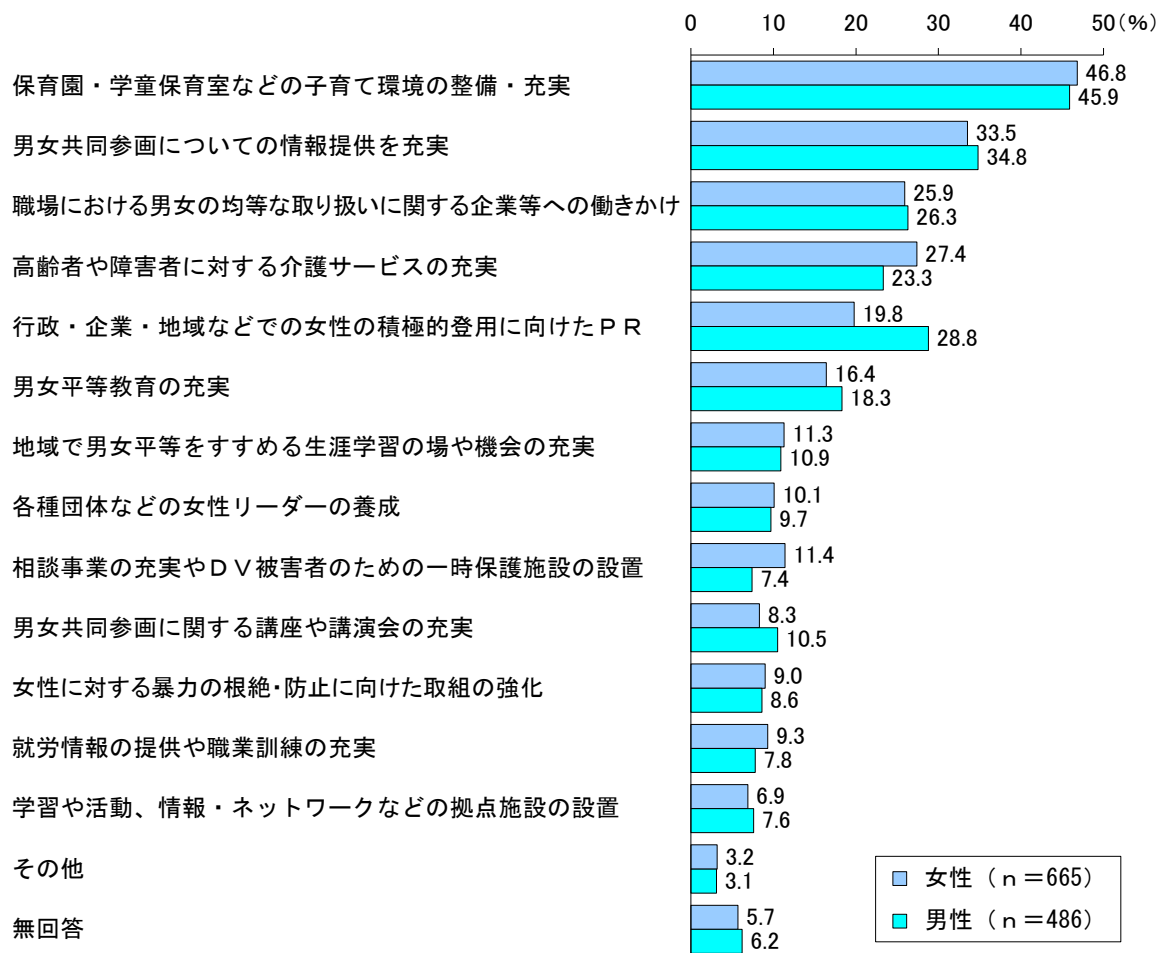
7 市立小学校・中学校における女性管理職の割合の推移

| | 小学校校長 | | | 小学校教頭 | | | 中学校校長 | | | 中学校教頭 | | | 指導主事 | | |
|--------------|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|----------|------|-------|----------|-------|-------|----------|-------|
| | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | | うち、女性 | 女性が占める割合 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成25年(2013年) | 32人 | 4人 | 12.5% | 32人 | 5人 | 15.6% | 22人 | 0人 | 0.0% | 22人 | 0人 | 0.0% | 33人 | 11人 | 33.3% |
| 平成26年(2014年) | 32人 | 6人 | 18.8% | 32人 | 5人 | 15.6% | 22人 | 0人 | 0.0% | 22人 | 0人 | 0.0% | 33人 | 12人 | 36.4% |
| 平成27年(2015年) | 32人 | 8人 | 25.0% | 33人 | 7人 | 21.2% | 22人 | 0人 | 0.0% | 22人 | 1人 | 4.5% | 34人 | 11人 | 32.4% |
| 平成28年(2016年) | 32人 | 8人 | 25.0% | 33人 | 8人 | 24.2% | 22人 | 0人 | 0.0% | 22人 | 3人 | 13.6% | 32人 | 7人 | 21.9% |
| 平成29年(2017年) | 32人 | 7人 | 21.9% | 33人 | 5人 | 15.2% | 22人 | 1人 | 4.5% | 22人 | 4人 | 18.2% | 32人 | 7人 | 21.9% |
| 平成30年(2018年) | 32人 | 5人 | 15.6% | 33人 | 8人 | 24.2% | 22人 | 2人 | 9.1% | 22人 | 4人 | 18.2% | 33人 | 8人 | 24.2% |

資料：川越市学校管理課

Ⅵ 男女共同参画を推進するための取組について

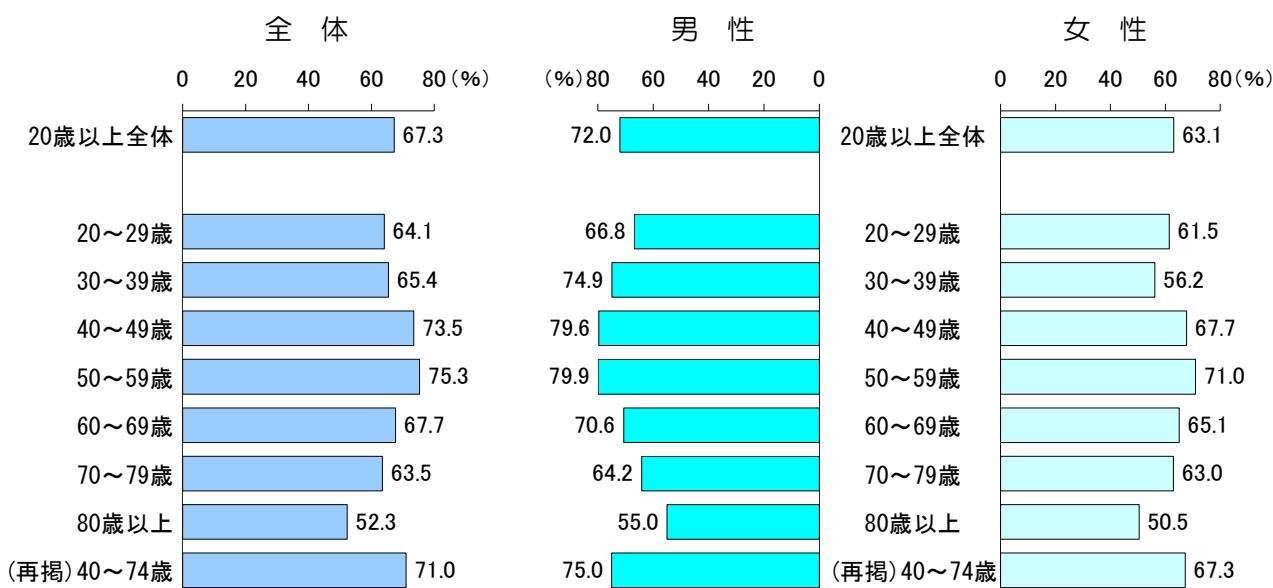
1 男女共同参画の推進のために、市が力を入れるべきこと



資料：男女共同参画に関する意識調査（川越市男女共同参画課）

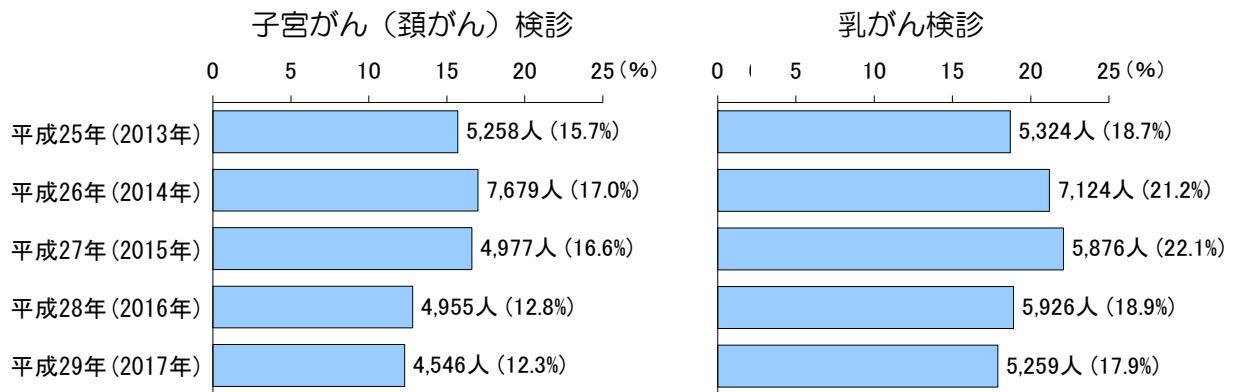
Ⅶ 関連資料

1 検診や人間ドックを受けた者の割合（20歳以上）



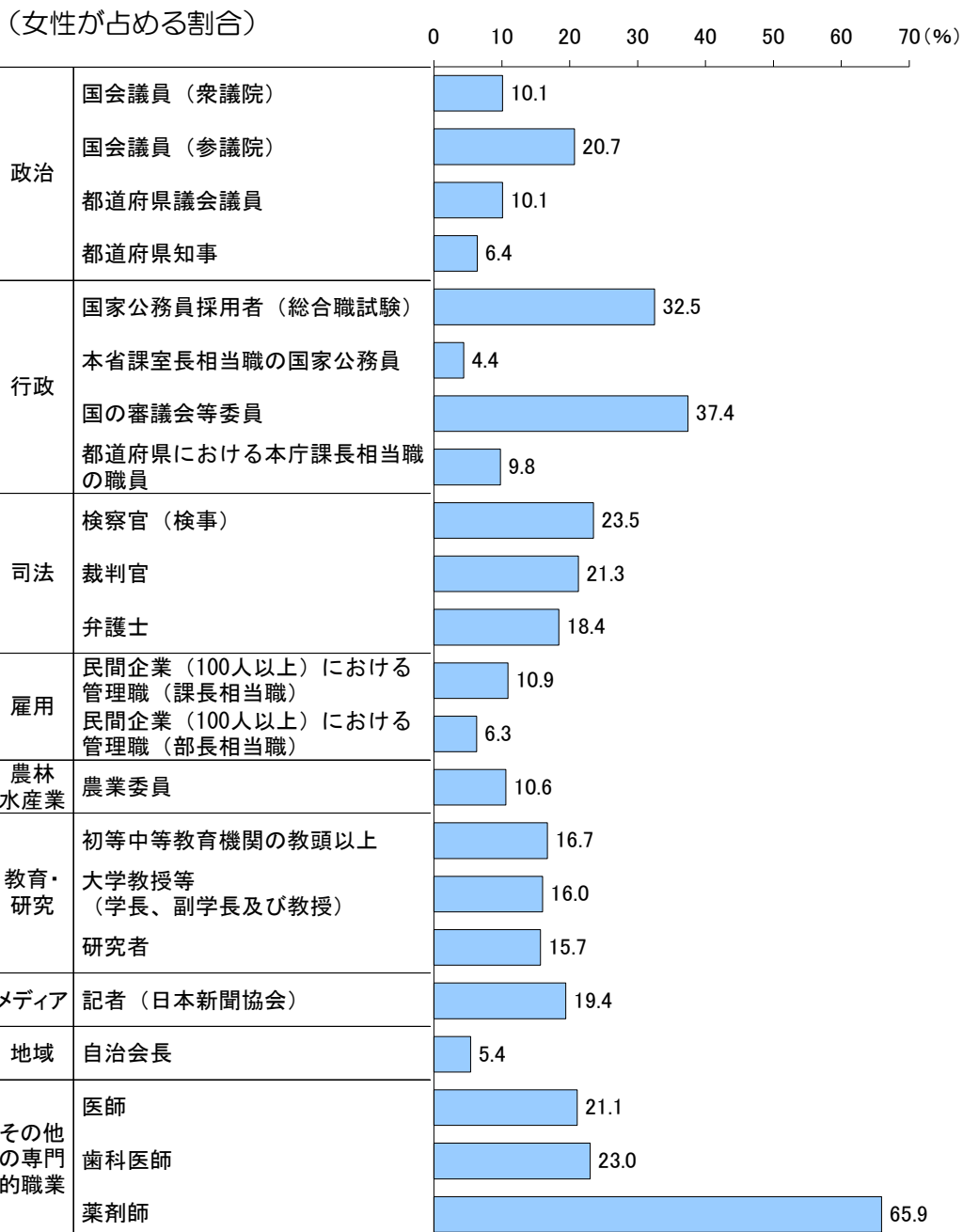
資料：国民生活基礎調査（厚生労働省）

2 川越市の子宮がん・乳がん検診の受診率の推移



（注）対象者は、子宮がん（頸がん）検診が20歳以上の女性（1年に1回）、乳がん検診が40歳以上の女性（2年に1回）
資料：川越市健康管理課

3 政策方針決定過程への女性の参画の状況



資料：男女共同参画白書（内閣府）

4 政策方針決定過程への女性の参画の状況の国際比較

HDI

(人間開発指数)
17位/188か国

2015年

| 順位 | 国名 | HDI値 |
|----|---------|-------|
| 1 | ノルウェー | 0.949 |
| 2 | オーストラリア | 0.939 |
| 2 | スイス | 0.939 |
| 4 | ドイツ | 0.926 |
| 5 | デンマーク | 0.925 |
| 5 | シンガポール | 0.925 |
| 7 | オランダ | 0.924 |
| 8 | アイルランド | 0.923 |
| - | - | - |
| 17 | 日本 | 0.903 |

GDI

(ジェンダー開発指数)
55位/160か国

2015年

| 順位 | 国名 | GDI値 |
|----|--------|-------|
| 1 | ウクライナ | 1.000 |
| 1 | フィンランド | 1.000 |
| 3 | フィリピン | 1.001 |
| 3 | タイ | 1.001 |
| 5 | スロベニア | 1.003 |
| 6 | スウェーデン | 0.997 |
| 6 | クロアチア | 0.997 |
| 6 | パナマ | 0.997 |
| - | - | - |
| 55 | 日本 | 0.970 |

GII

(ジェンダー不平等指数)
21位/159か国

2015年

| 順位 | 国名 | GII値 |
|----|--------|-------|
| 1 | スイス | 0.040 |
| 2 | デンマーク | 0.041 |
| 3 | オランダ | 0.044 |
| 4 | スウェーデン | 0.048 |
| 5 | アイスランド | 0.051 |
| 6 | ノルウェー | 0.053 |
| 6 | スロベニア | 0.053 |
| 8 | フィンランド | 0.056 |
| - | - | - |
| 21 | 日本 | 0.116 |

GGI

(ジェンダー・ギャップ指数)
110位/149か国

2018年

| 順位 | 国名 | GGI値 |
|-----|----------|-------|
| 1 | アイスランド | 0.858 |
| 2 | ノルウェー | 0.835 |
| 3 | スウェーデン | 0.822 |
| 4 | フィンランド | 0.821 |
| 5 | ニカラグア | 0.809 |
| 6 | ルワンダ | 0.804 |
| 7 | ニュージーランド | 0.801 |
| 8 | フィリピン | 0.799 |
| - | - | - |
| 110 | 日本 | 0.662 |

「長寿で健康な生活」「知識」及び「人間らしい生活水準」という人間開発の3つの側面を測るもの。
(平均寿命、1人あたりGDP、就学率等)

人間開発における男女格差を表すもので、男女別の人間開発指数(HDI)の比率で示される。
各国のGDIランキングは、HDIにおける男女平等からの絶対偏差に基づいており、男性優位の不平等も女性優位の不平等も同じ扱いでランキングに反映される。

国家の人間開発の達成が男女の不平等によってどの程度妨げられているかを明らかにするもの。
(妊産婦死亡率、国会議員の女性割合、中等教育以上の教育を受けた人の割合(男女別)等)

経済、教育、保健、政治の分野毎に各使用データをウェイト付けて総合値を算出。
その分野毎総合値を単純平均してジェンダー・ギャップ指数を算出。0が完全不平等、1が完全平等。

(注) HDI、GDI及びGIIについては国連開発計画(UNDP)「人間開発報告書」より、GGIについては世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書」より作成。

男女共同参画に関するデータブック

平成31年1月

発行：川越市市民部男女共同参画課

埼玉県川越市元町1-3-1

電話 049-224-8811 (代表)